

## まちづくり懇談会 結果

日時：令和元年6月26日（水）  
午後6時30分～8時30分  
会場：コミセン大ホール

### ～テーマ「防災・生活環境」「人づくり・地域づくり」～

#### Bグループ

##### 【前半】

○参加者 6名

##### ○懇談内容

- ・ウォーキングで大丸山森林公園によく行くが、立派な藤棚があり、きちんと手を加えたらもっときれいに咲くのでは。管理に係る手間や費用が大変なのであれば、ボランティアを募るなど、工夫する余地があるのでは。
- ・つつじまつりへの出店で、大丸山森林公園に行ったが、吊り橋が渡れなくなっていた。町で補修する予定はないのか。
- ・まちを歩くことで気づくことがたくさんある。シーサイドパーク内の博物館の前の芝生に行くと、犬の糞が落ちている。また、車通りの少ない道端に袋に入ったごみが落ちているのを見かける。
- ・避難訓練で、赤十字奉仕団が炊き出しの協力をしているが、実際に災害が起きた場合、どういう連絡体制になるのか。町の対策本部からの連絡を待てばいいのか、こちらから連絡すればいいのか、わからない。日赤側から災害対策本部には電話しづらい。
- ・実施の災害の際は、炊き出しをお願いする場合も、お願いしない場合も対策本部から赤十字奉仕団に必ず連絡し、情報共有を図るべき。
- ・冬の避難が心配。屋外の避難場所に集まってから、建物の避難所に移動するまでの待ち時間が長いと寒さをどのようにしのげばいいのか。
- ・ボランティアのメンバーの高齢化が進み、新会員の確保が課題。役場職員など現役で働く年代へのPRが必要。
- ・自分たちのボランティアグループと関わりのある高校生ボランティアグループの1名の生徒が高校卒業後、町内に就職して自分たちのグループに加入してくれた。
- ・十勝バスを利用するが、トイレがないのが不便。忠類に1度停まるが、足りない。
- ・今は自動車を運転できているが、将来運転できなくなったときにバスが必要である。
- ・サンタ号はとても便利なので、無くならないでほしい。
- ・サンタ号は、ドライバー不足で廃止の話が出たことがある。当面は継続されるが将来的には不安がある。
- ・高規格道路の早期開通は色々な面でメリットがある。

## 【後半】

○参加者 6名

### ○懇談メモ

- ・避難訓練の時に、町内会ごとに集まるため、目印となる町内会名が書かれた旗が必要では。
- ・自主防災組織を設立すると、町から活動助成金がもらえるので、それを活用して旗を作っているようだ。
- ・しばらく大きな地震が来ていないので、町民の備蓄の意識が低い。
- ・今年のブラックアウトでは情報がほとんど入ってこなかったもので、ラジオを買った家はあるのでは。
- ・町内会が高齢化し、役員の成り手や葬儀の手伝いに支障がでる心配がある。
- ・いきいき百歳体操に参加しているが、色々な年代の人が集って、世代間交流が図られている。
- ・町立病院の診療科目が充実し、込み合っているようだ。特に形成外科が好評で、ウォーターベッドを試してきたがとてもよかった。最近3台に増えたので、待ち時間も短くなった。
- ・もし、道の駅をつくるのであれば、町外からの人が集まるだけでなく、町民も集えるような場所になれば。
- ・サーファーは1年通じて訪れるので、経済効果が期待できる。
- ・漁の変化が顕著で、特にイカが獲れない。漁業者も水産加工業者もかなりのダメージがある。